

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)~(8)は必ず記入してください。(9)~(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

| | | | | | | | |
|----------|-------------------------|-----------|-------|-------|--------|----------|---------|
| (1)担当支部: | 福井支部 | (2)記載者氏名: | 大和 康郎 | 会員番号: | 13872 | 事務局整理記入欄 | 福井 - 24 |
| 分水嶺区分 | W097温見峠 ~ W099杉谷P1281.6 | (3)山行日: | | 2005年 | 4月 29日 | (4)天候: | 晴れ |
| | | | | | ~5月 1日 | | |

(5)参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

| | | | | | | | |
|-------|-------|---|--|----|--|---|--|
| 宮本 数男 | 10622 | | | | | | |
| 大和 康郎 | 13872 | | | | | | |
| 牧田 正弘 | 13784 | | | | | | |
| 山本以久子 | 12260 | | | | | | |
| | | 計 | | 4名 | | 計 | |

(6)山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

| | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------|---|-------------|-----|----|------|-----|----|------|---------|--------|------|---------|--------------------|
| コース概略: | 第1日:温見峠より登山道沿いに能郷白山に行き、近くの白山神社奥の院を風除けにして幕営。(その日は風・霧で天候が崩れる) 第2日:幕営地より分水嶺沿いでイソクラに南下する。そこよりW099杉ヶ谷山に北上する。 | | | | | | | | | | | | |
| アプローチ: | 第1日:敦賀市・福井市より車輦にてR158 R476 R157を通り、温見峠駐車「途中、熊河峠に1台車両残置し熊河峠に下山計画」。 第2日:イソクラ~杉ヶ谷山の稜線での雪量が予想以上に少なく、笹・樹木が繁茂し、時間を消費してしまったので熊河峠への尾根筋には下山が難しくなったので杉ヶ谷山より分水嶺を離脱し、尾根沿いに北上してP1174近くで幕営する。 第3日:幕営地よりさらに北上して旧温見集落近くの林道に下りる。地図上では橋が有る筈で有ったが、流出しており、溪流を渡渉してR157の歩行終了点に行く。 その近くで旧温見の住人(武生市居住)が杉の手入れをされていたので、軽トラックで熊河峠まで送って貰った。 熊子峠に残置した車輦で歩行終了点に折り返し、温見峠の車輦を回収に行く。 | | | | | | | | | | | | |
| 地点コード | 地点名 | 2.5万分の1地形図名 | 経度E | | | 緯度N | | | 高度m | 所要時間 | 出発時刻 | 道の状況 | (8)~(11)の特記事項等との関係 |
| 歩行開始点 | 温見峠 | | 136 | 31 | 6.6 | 35 | 46 | 45.2 | 1,015.5 | | | | |
| 分水嶺到達点W097 | 温見峠 | | | | | | | | | | | | |
| W098 | 能郷白山 | | 136 | 30 | 50.6 | 35 | 45 | 44.6 | 1,617.1 | 2時間55分 | | A-1 | |
| | 白山神社奥の院 | | 136 | 30 | 46.1 | 35 | 45 | 40.4 | 1,611.3 | 10分 | | A-1 | |
| | 最低鞍部 | | 136 | 30 | 28.6 | 35 | 45 | 9.1 | 1,418.5 | 1時間50分 | | B-3/B-4 | |
| | P1541(イソクラ) | | 136 | 30 | 22.5 | 35 | 45 | 1.4 | 1,536.8 | 20分 | | B-3/B-4 | |
| | 最低鞍部 | | 136 | 29 | 25.0 | 35 | 46 | 12.7 | 1,108.8 | 3時間25分 | | B-3/B-4 | |
| 分水嶺離脱点W099 | 杉ヶ谷山 | | 136 | 29 | 9.1 | 35 | 46 | 34.6 | 1,277.7 | 1時間30分 | | B-3/B-4 | |
| | 野営地(P11174近辺) | | 136 | 29 | 17.9 | 35 | 47 | 3.8 | 1,159.7 | 1時間10分 | | B-4 | |
| | 1016m地点 | | 136 | 29 | 4.0 | 35 | 47 | 20.0 | 1,027.3 | 1時間15分 | | B-4 | |
| | 杉ヶ谷川の渡渉 | | 136 | 28 | 50.2 | 35 | 47 | 46.3 | 685.3 | 1時間 | | B-2 | |
| 歩行終了点 | 温見集落 R157 | | 136 | 28 | 42.4 | 35 | 48 | 6.1 | 661.0 | 14分 | | A-2 | |
| 総歩行時間(休憩時間を除く): | | | | | | | | | | | | 12時間54分 | |
| 総所要時間 | | | | | | | | | | | | 47時間19分 | |

(7)三角点の位置と保存状況

| | | | | | |
|----------------------|------|----|----|------|-----------------------------|
| 上記(6)の地点コードを記入してください | 点名 | 等級 | 方位 | 保存状況 | 特記事項 |
| W098 | 能郷白山 | 1 | 真南 | 良好 | 角2ヶ所少し欠け・土砂が流され土台が露出(10cm程) |
| W099 | 杉谷 | 不明 | 不明 | 不明 | 積雪につき確認不能 |

(8)人工施設の現況および地形図との相違点

| |
|--|
| 夏道と残雪の斜面を登る。 白山神社奥の院(我々が露営した夜に、祠の扉の片方が壊れた。) 頂上は「礮倉1541m」の標識と数m程度を少し刈った程度の所。(礮倉は当て字で「イソクラ」が正しいとか) |
|--|

(9)水および植生に関連した特記事項

| |
|---|
| 白山神社奥の院よりイソクラに向う時、もう少し岐阜県側の尾根に残っている雪渓を降下してから、尾根の笹数に入れば良かった。 濃霧の中で少し早めに笹数に入った為、笹数と霧で稜線が判らなくなり、福井県側に大きく入ってしまった。笹数が深く分水嶺尾根の稜線復帰するのに大変苦労した。 イソクラから杉谷までの稜線は南面の為、強度の松・しゃくなげ・笹数・雑木の連続で想像以上の藪漕ぎで大変苦労する。 只、時々残っている雪渓を歩く時はほっとする。これも直ぐ無くなり、又藪漕ぎの連続である。 W099:杉谷は高度が高い為、未だ積雪が多かった。その為、三角点は発見出来なかった。 杉谷よりP1015当りまでは、北斜面であるので、高度の割には、尾根筋に残雪が有り、歩き易かった。もう少し遅かったら、雪が無くなり藪漕ぎで苦労の連続か?このコースの最適時期は2週間程前で有った。2週間前なら若丸山までの分水嶺踏破が進行出来たと考える。 (理由:(1)結果論であるが、温見集落への除雪が2週間前に終わっていた。これは、下山後に軽トラックに乗せて貰った旧温見の人の情報による。 又、大野土木事務所の公式情報は「昨年の豪雨により、中島より奥は道路が崩落し、道路は無い。」であったが、現実には道路復旧の為の作業道が作られており、その作業道を通過させて貰った。公式的には通行止めであるが、自己責任で通行の場合は可能で有った。 現地の交通状況は現地へ行って自分の目で確認が絶対必要である。 (2)4月14日に行った美濃俣丸~笹ヶ峰~天草山J.Cの分水嶺山行では、能郷白山は真っ白であった。その後、融雪が急激に進行している。) |
|---|

(10)その他の特記事項

| |
|--|
| |
| |
| |
| |

(11)写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

| | |
|-------|--|
| 写真説明: | 今回の山行の軌跡を写真にして添付する。(軌跡が抜けている所・ヒゲ状の所は、藪漕ぎ状態で衛星を捕獲し難い所である)(この写真はカシミールのソフトを使用して作成した。) |
|-------|--|

山行報告書(続き)
表面(1ページ目)に書ききれなかった事項を記入してください。

